



滋賀大学大学院経済学研究科

ビジネス・データサイエンス 専修プログラム

1年制社会人コース

募集案内

Graduate School of Economics
Shiga University

2022

現場の課題に直面している社会人のための リカレント教育プログラム

本研究科には、経済学専攻、経営学専攻、グローバル・ファイナンス専攻があり、国立大学最大の規模と多様性を誇る経済学部の特質をフルに活用し、大学院教育を提供しています。

また、同じキャンパス内にあるデータサイエンス研究科の協力によって、一年で修士の学位を取得できる集中型社会人コースを導入しました。

社会人の持つ豊富な業務経験の上に、経済・経営の専門的知見とデータサイエンスの手法を融合させ、業務革新コーディネーターの育成を目指します。



教育内容

経済学研究科で開講の各専攻の専門科目等に加え、データサイエンス研究科と協力して開講される科目を履修し、実務家教員の指導や専門性の高い授業を通じて、現実の課題に対して、実際のデータを活用したデータ分析などをおこない、意思決定につなげる手法を学びます。

学位論文については、学術的なアプローチを重視して修士論文を提出するか、もしくは半期ごとの演習科目などで作成したタームペーパー(レポート)をもとに、データ分析の結果に解釈や考察を加えて、特定課題研究として取りまとめ、学位論文とすることも可能です。

身につく力

本プログラムで、データサイエンスが活かせる勘所を理解している業務革新コーディネータの養成を目指します。

具体的には、現場の業務経験・知識をデータ駆動型の思考で再構成し、高度な専門知識を持つデータサイエンティストを適切に動かし、業務改革に導いていくことができる力を涵養します。

また、データサイエンティスト協会の提唱する3つの「力」からなるスキルセットを身につけ、特に高いビジネス力を鍛えます。

データサイエンティストに求められるスキルセット

ビジネス力

business problem solving

課題背景を理解した上で、
ビジネス課題を整理し、
解決する力

データ エンジニアリング力

data engineering

データサイエンスを
意味のある形に使えるようにし
実装、運用できる
ようにする力

データサイエンス力

data science

情報処理、人工知能、
統計学などの情報科学系の
知恵を理解し、使う力

想定する入学者

すでに企業等で一定程度の経営・ファイナンス・経済の専門的知識・能力を擁し、様々な課題解決を求められる業務に従事してきた社会人や、数理・工学的な知識と経験を有し、より高度な経営的能力が求められる業務へとキャリアアップを図ろうとする社会人の方を対象としています。



教育カリキュラム

滋賀大学(経済学部・データサイエンス学部・データサイエンス教育研究センター)と企業・自治体等との連携・共同研究の蓄積に基づいた実践的なデータ・教材を利用したデータ駆動型の課題研究によって、実務に即した分析能力を鍛えます。

プレマスター教育

eラーニングによる
データサイエンスの
入学前学習



データサイエンスの 基礎知識

- ・ データサイエンス概論
- ・ 意思決定とデータサイエンス

統計・データ分析の 専門知識

- ・ 統計学
- ・ データ分析
- ・ 計量経済学
- ・ 計量ファイナンス
- ・ 知能情報論
- ・ 情報理論 など**



ビジネス・ファイナンス・ 公共政策の学術的な知識

- ・ イノベーション論
- ・ 経営戦略論
- ・ 経営管理論
- ・ 人材マネジメント論
- ・ マーケティング論
- ・ 組織行動論
- ・ 管理会計論
- ・ 企業分析論
- ・ オペレーションズ・リサーチ
- ・ ファイナンス
- ・ 行政経営論
- ・ 公共政策
- ・ 社会保障論
- ・ 環境経済学 など**

**全ての科目が毎年開講されるわけではありません。

データ分析 実践演習

修士論文
特定課題研究*

*実践演習型の課題研究に基づくチームペーパー(レポート)をもとに、データ分析の結果に解釈や考察を加え、特定課題研究として取りまとめて提出することで、修士学位の審査を受けることができます。

経済学部教授 岡本哲弥

1年間で学位取得にチャレンジしてみませんか？

ビジネスの現場では、様々なデータが行き交っており、皆さんの周りにも、情報システムが整備されていたり、帳票やExcelで作成したデータがあふれていたりするのではないのでしょうか。

それらのデータを統計的に分析することで、業務改善につなげたり、意思決定に役立てたりできる可能性があります。また、ビッグデータにマイニング手法を適用すれば、新たな知見の発見につながるかもしれません。

このようなデータ活用のニーズに応えるべく、「ビジネス・データサイエンス専修プログラム」を導入しました。社会人の皆さんの挑戦をお待ちしています。



募集Information

第1期(夏季)募集	第2期(冬季)募集
毎年9月中旬	毎年1月下旬
募集人員は6名程度	

選抜方法	一般社会人	出願書類及び学力検査(筆記試験及び口述試験)
	派遣社会人	出願書類及び口述試験
4年制大学等を卒業後、一定期間(大学院入学時で3年以上)、社会人として就労等の社会的経験を有している方を対象としています。出願資格など、より詳しくは滋賀大学大学院経済学研究科ホームページをご覧ください。		

修了要件

	データサイエンス概論、意思決定とデータサイエンスの2科目 4単位必修
展開科目	データ分析実践演習 I・II(4単位必修) 統計学特講I・II、データ分析特講、計量経済学特講I・II、オペレーションズ・リサーチ特講、計量ファイナンス特講、知能情報論特講及び情報理論特講の中から2科目4単位 上記8単位を含め10単位以上
連携実践科目	2単位以上
演習科目	研究指導教員の2科目4単位必修
論文	修士論文または特定課題研究
単位合計	30単位以上
修了要件の科目単位30単位のうち、データサイエンス概論2単位、意思決定とデータサイエンス2単位、展開科目10単位、連携実践科目2単位、演習科目4単位の合計20単位を必修とし、それを超える単位数は、展開科目、連携実践科目のいずれの科目・単位も修了要件と認めます。	

滋賀大学大学院経済学研究科
〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1-1
Tel:0749-27-1023



滋賀大学